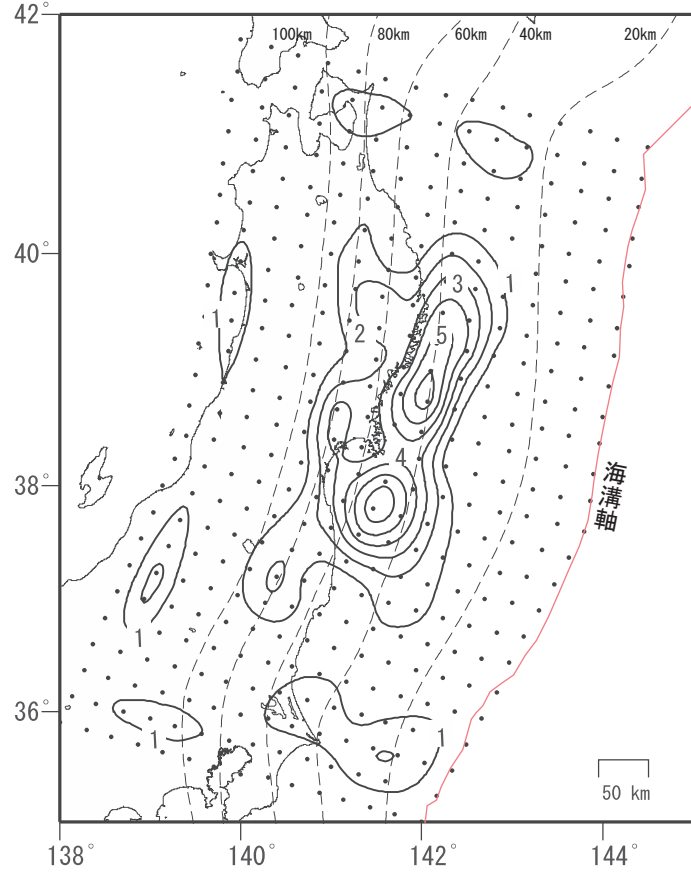


# 地震後の太平洋プレート境界面におけるすべり分布

国土地理院のGNSS観測による地震後の地殻変動データから、太平洋プレート上面における地震後のすべり分布を推定しました。この結果、本震の周辺では地震後にすべりが起きていることがわかりました。これまでに解放されたモーメントのマグニチュードは8.6(Mw)を超えましたが、解放速度は次第に小さくなっています。

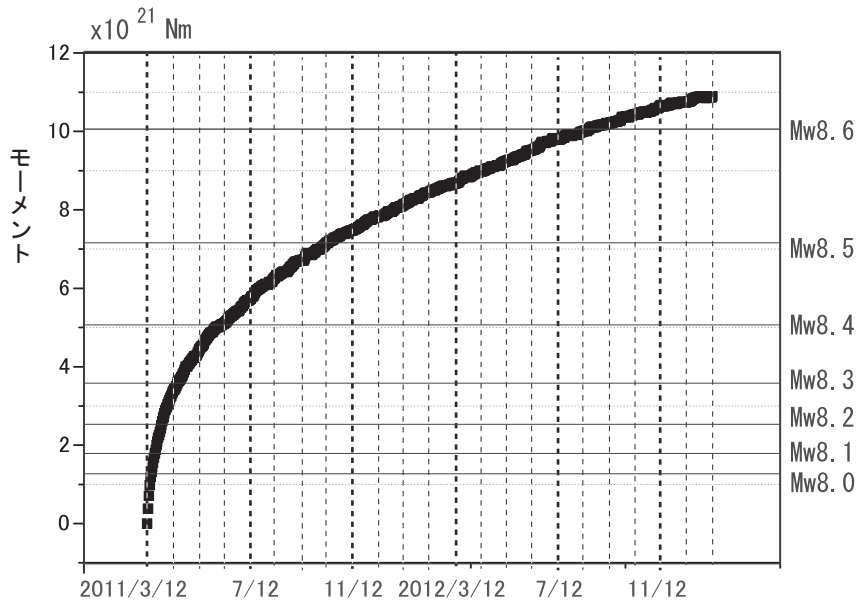
データ期間 2011/03/12 ~ 2013/01/12 【F3：最終解 (R3：速報解も含む)】



----- 太平洋プレート上面の等深線  
(Nakajima and Hasegawa, 2006)

時間と共にモーメントの解放速度が小さくなっている

データ期間 2011/03/12 ~ 2013/01/12 【F3：最終解 (R3：速報解も含む)】



(剛性率：40GPa)

地震直後の約30時間のモーメント増加量は含まれていない。